

令和8年度

阿南中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 基礎的・基本的な学力の定着と向上に向けた授業実践
- 深い学びを目指した、受け入れ合い、学び合う授業の実現

校長

岡田 栄司

学力向上推進員

山田 泰史

○次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職、指導教諭等による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。
徳島型メンター研修を継続し、各教員の取り組みや状況の共有を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な学力の定着、向上をめざして、意欲的に授業に臨むことのできる生徒が多い。 ●語彙力の向上や知識・技能の定着、長い文章を正確に読み取ったり、身に付けた知識等を関連付けたりすることに課題がある。	・語彙力の向上を図ることにより、自らの考えや思いを的確な言葉でまとめたり伝えたりすることができる。 ・様々な学習活動や生活の場面で、習得した知識・技能を自分の生活や学習に活用することができる。	・教科書等の文章から、情報を適切に読み取ったり、読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力を育てるため、アンダーラインを入れながら読み取る習慣を育てる。 ・生徒が興味をもって学習に取り組むことができるように、共感的、批判的な視点で発問を工夫する。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業での意見交換や話し合い活動に積極的に取り組み、多様な角度からの見方・考え方を深めようとしている。 ●教科を問わず、文章や問われていることを正確に読み取ること、建設的な意見交換をすること、自らの考えを言葉としてまとめ、話したり書いたりして伝えることに課題がある。	・文章の内容を正確に読み取り、自らの考えをまとめることができる。 ・自分の考えや思考の過程を的確な言葉でまとめ、他者にわかりやすく伝わるよう話したり書いたりしながら、効果的に伝え合うことができる。	・ペア学習やグループ学習等多様な学習形態の機会を効果的に設定する。 ・ICTを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。 ・すべての教科において「徳島版読解力」を生かした授業づくりを図り、特に国語科においては、読解力の向上を図る。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（○よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
○授業に一所懸命取り組むことができる。また、自らの力を伸ばしたいという意思をもち学習に取り組むことができる。 ●わからないことや少し難しいことに対して深く考えたり問い続けたりすること、不得意な学習内容に対して、自分で計画を立てて克服することに課題がある。	・学習課題や疑問点を意識し、学んだことを活用しつつ試行錯誤しながら粘り強く解決策を追究できる。 ・学んだ情報が、問題を解決するために適切かどうかを判断する力を養う。 ・どの教科の学習に対しても主体的に取り組むことができる。	・発問を工夫して対話を重ねたり、タブレットを活用して共同で課題に取り組んだりする活動を多く取り入れる。 ・目的や意図に応じて、自分の考えや意見を、明確にしながら、表現したり発信・交流したりする発問を組み入れる。 ・教員研修（メンター研修）を教員相互の学び合いの場とし、実践事例について情報共有を行う。			